

議会だより



- 特集議会だより 100号記念 2～3
- 今年の予算はこう使われます 4～5
- 町長所信表明 6～7
- 予算・条例等の委員会審議内容 8～13
- 一般質問（武藤議員、山崎議員、瀧口議員） 14～16
- コミュニケーション広場
（三ツ峠太鼓保存会アーク飛女龍） 17

4月4日 小学校入学式
（教室での様子）

100号を迎えて

議会広報編集委員長

中村 常実



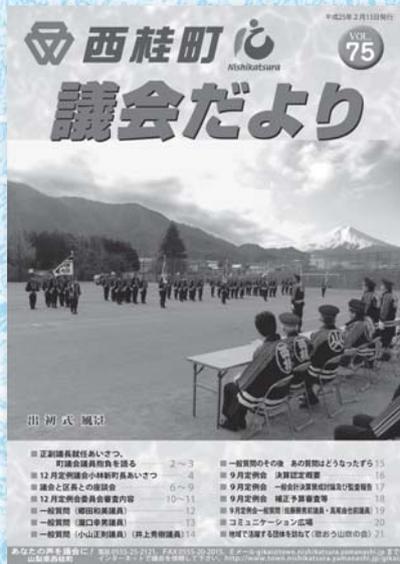
議会だより 100号発行にあたり、これまでご尽力されました歴代町長様始め、先輩議員様、関係各位の英知に対して、贅辞と感謝を申し上げます。

議会だよりは、西桂町議会の活動を皆様によりわかりやすくお伝えするため、年4回開催される定例議会終了後に発行しております。

この自然豊かな西桂町に住む皆様が笑顔で過ごせるよう、議員一人ひとりが我が町を活力に満ちた心豊かないきいきとしたまちにするため、西桂町の現状と過去の歴史を踏まえ活動しています。今後も読みやすくわかりやすい広報誌づくりに取り組んでまいります。

町民の皆様には、町づくりに対する尚一層のご協力をお願い申し上げ、100号発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

第57号
(平成20年2月発行)
山梨県町村議会
広報コンクールにて
広報誌部門で最優秀賞
「山梨県知事賞」を受賞



第75号
(平成25年2月発行)
平成25年1月5日消防出初式

第80号
(平成26年4月発行)
10回を迎えたさくら祭り



西桂町議会だより

創刊号
(平成5年8月発行)
全8ページ



第12号
(平成8年5月発行)
表紙がカラーに



第45号
(平成16年10月発行)
表紙を明るく
イメージチェンジ



『100号記念に寄せて』

西桂町議会議長 柏木 正

西桂町議会だよりが平成5年8月に創刊して以来、今号で100号を迎えることができました。

この間、西桂町を取り巻く環境は大きく変わり、町民生活に直結する課題は複雑多様化しております。

町議会ではこれらの課題に対し迅速かつ慎重に審議を行い、町民の皆さまの声を代表する責任を果たしていく所存でございます。

また、議会情報の発信の重要性は今後ますます高まってきます。

100号を通過点とし、議会だよりも「伝える」広報から「伝わる」広報へ、また「読みたくなる広報」の編集を目指して、日々取り組んでいます。

皆様には、今後とも議会に対して更なるご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

町民主体の 向けた各種施策を執行

一般会計 賛成討論

「コンパクト・セーフティ・タウン西桂」 実現に向けて、なお一層努力を



中村常実 議員

円の減となっております。

地方交付税においては昨年度と同額を見込んでおり、基金については、財政調整基金1億369万円、減債基金8000万円、公共施設整備基金1億4850万円の繰入を行います。財源確保を図っております。町債においては、臨時財政対策債5690万円、緊急防災・減災事業債3330万円、地域活性化事業債800万円の借り入れを行って

平成31年度西桂町一般会計当初予算は、総額23億4946万円であり、前年度当初予算と比較して1億6382万円の増額となっております。歳入においては、町税で、4億2053万円を計上、前年度比342万

います。

限られた財源の中で、交付税算入される起債を活用するなど、町の努力が見られるものであります。

歳出においては、社会保障経費や公共施設の維持管理及び老朽化に伴う改修費の増加など、財政運営は、厳しさを増しています。

従来の施策の継続に加え、やまなし出会いサポートセンター加入促進事業・鉄道通学支援事業・乳幼児向け予防接種にロタウイルス並びにおたふくかぜなど新規事業と子育て支援に配慮した予算となっております。

また、宮作橋下部工事、滝入地区小規模治山事業、本団ポンプ車の更新、下暮地宮作地内農道新設測量設計委託などに経費

が投資され、災害受援計画災害廃棄物処理計画の策定経費、小学校体育館のW30環境整備など、小林町長の地域防災に対する並々ならぬ決意が盛り込まれた予算となっております。

2020年の東京オリンピックに向けフランス共和国フェンシング連盟との経済・教育交流などが

期待されます。

施策の展開が盛り込まれております。

さらに、三ツ峠グリーンセンターにおいては、施設整備費が計上されており、新しい指定管理者に期待しております。

「コンパクト・セーフティ・タウン西桂」実現に向けて町長はじめ執行部には、なお一層の努力を期待します。

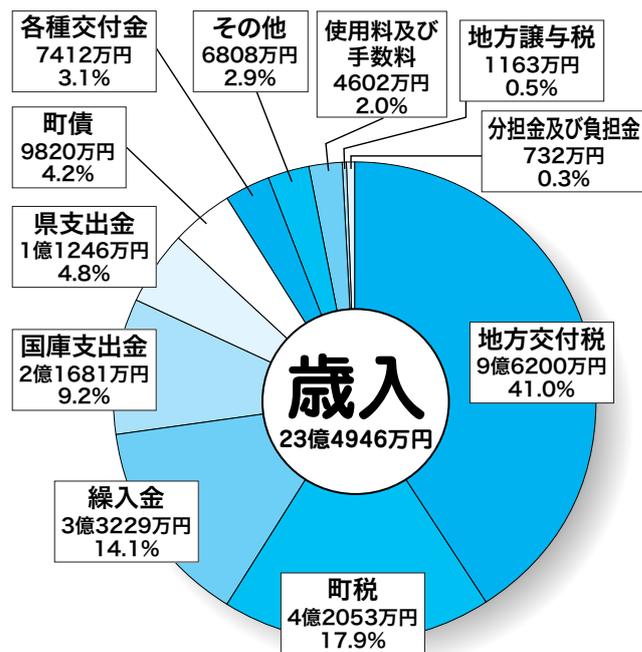
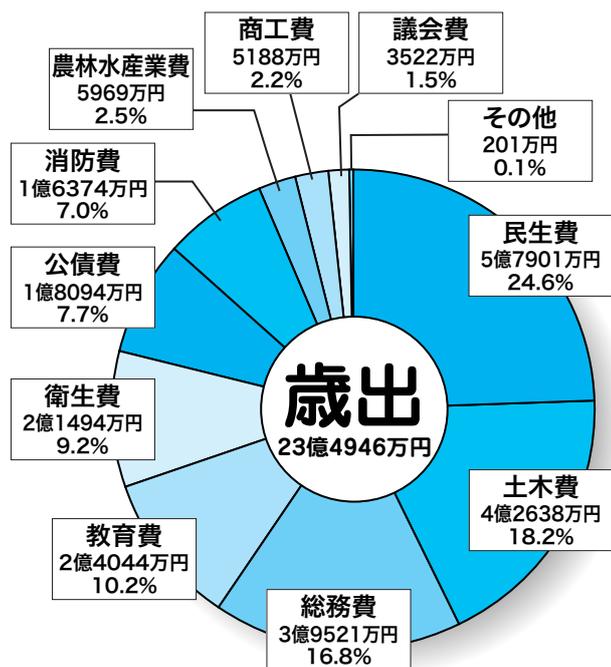
3月定例会は平成31年3月8日に招集され、同日に本会議、その後会期中に各常任委員会審査会、本会議が開催され、15日間の会期をもって、22日に閉会いたしました。町執行部より承認2件、条例8件、当初予算7件、補正予算7件、その他議案1件、同意2件、合計27件が提案され、全ての議案が全員賛成にて、原案のとおり承認・可決・同意されました。



新しくなった消防ポンプ車

「子育て支援、地域防災、まちづくり」に

平成 31 年度 西桂町一般会計当初予算



■ 基金 (貯金) 残高15億2037万円 (約35万円)

■ 地方債 (借金) 残高
 普通債 6億4104万円 (約15万円)
 臨時財政対策債等 11億3043万円

※左記の額は一般会計平成 30 年度末見込みです。
 ※〔 〕内はH31年4月1日現在人口4,304人で割った一人当たり額
 ※臨時財政対策債は、地方交付税で100%財源が措置される地方債です。

一般会計の主要事業及び主な新規事業

- 鉄道通学支援事業 (新規) …………… 96 万円
- 第 6 次長期総合計画策定委託費 (新規) 211 万円
- 個別施設計画策定委託 (小中学校等・新規) 1122 万円
- 国際交流経費 (ホストタウン推進事業・継続) …………… 300 万円
- すこやか子育て応援医療費助成事業 (充実：継続) …………… 1780 万円
- 高齢者タクシー利用助成事業 (継続) … 271 万円
- 災害廃棄物処理計画策定経費 (新規) … 374 万円
- 三ツ峠グリーンセンター施設改修経費 (新規) …………… 662 万円
- 小規模治山事業 (新規) …………… 300 万円
- 登山道整備経費 (新規) …………… 376 万円
- 千本桜の里管理経費 (継続) …………… 411 万円
- (仮称)宮作橋下部工工事経費 (新規) 1 億 2650 万円
- 橋りょう長寿命化修繕計画改定業務委託経費 (新規) …………… 501 万円
- 月夜の平団地 1.2 号棟外壁改修工事経費 (新規) …………… 5439 万円
- 本団ポンプ車更新経費 (新規) …………… 2640 万円
- 防災受援計画策定経費 (更新) …………… 382 万円
- 入学就職支度金支給経費 (継続) …… 226 万円
- 小学校南館屋根防水補修経費 (新規) 119 万円
- 中学校屋内運動場 LED 照明器具交換工事 (新規) …………… 977 万円
- フットサルコート B 面改修経費 (継続) 959 万円
- 学校給食調理場空調改修工事 (新規) …1501 万円



小林町長 所信表明

幼児教育・保育の無償化を積極導入

現在のアナログ防災無線からデジタル化への移行を行い、情報発信の充実強化に努め、又宮作橋の新設により、災害に強い西桂町を目指します。

「地方創生」

平成31年度は、移住定住を促進し、人口流出を抑制するため、町の資源である地下水を活用した新産業の誘致活動を積極的にやりたいと考えており、新たな地域産業を官民一体となって実現させることにより、雇用の創出、新たな地域ブランドを創生、観光資源としての活用を図り、地方創生に結びつけることを目指してまいります。

「参画と協働によるまちづくり」

当町において、人口減少・少子高齢化の進行、安全・安心意識の高揚、

地方分権の伸展、官民連携の拡大など、大きく変化する社会情勢のなか、老朽化した都市インフラへの対応や機能充実、連携型まちづくりの推進など、将来を見据えて乗り越えなければならない課題が山積しています。2021年度から10年間にわたる第6次長期総合計画の策定に向けて全力で取り組んでまいりたいと考えております。

「行財政運営の充実」

2021年度までの年次計画による策定予定を見直し、本年度、必要とされる公共施設全ての個別施設計画を策定し、公共施設の効率的な運営及び維持管理における経費削減に努めてまいります。現在のアナログによる防災無線が2022年10月で利用できなくなることを受け2020年度にデジタル化への移行完了を目指し、本年度より防災無線デジタル化に向けた予算を計上し、防災等に関する情報発信の充実強化に努めてまいります。減災のためには災害に對する受援力を備えることが必要不可欠であることから本年度「西桂町災害受援計画」を策定いたします。

「地域防災の推進」

明確に、しかも具体的に計画しておく必要があります。本年度「西桂町災害廃棄物処理計画」を策定していく考えております。(仮称)宮作橋新設事業につきましては、平成31年度は1億2650万円を事業経費として予算計上する中、下部工事を実施し、2020年度までに橋梁新設の完了を目指してまいります。

「国際交流事業の推進」

1年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックに向け、ホストタウン関連事業をはじめとして更なる機運の醸成を図ってまいります。

「保健・医療の充実」

平成31年度より、ロタウイルスとおたふく風邪の予防接種費用の一部助成を始めます。急性胃腸炎の原因の一つでありますロタウイルスやおたふく風邪の重症化予防や感染の拡大防止に努めてまいります。

「子育て支援の推進」

平成30年度に「西桂町子どもの育ちを支援する町宣言」を行い、安心して子どもを生み育てられる環境と共に、行政サービスを充実させ子育てをサポートしております。本年10月からはじまります3歳から5歳児までの保育料の負担を軽減するための「幼児教育・保育の無償化」を積極的に導入していく方針でございます。

「高齢者・障害者福祉の充実」

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、早期診断、早期対応に努めてまいります。

徘徊に苦悩する認知症者を抱える家族のために、

平成31年度 各会計当初予算計上額

全員賛成

会計名	予算総額	前年との比較
一般会計	23億4946万円	1億6382万円
国民健康保険特別会計	3億6541万円	△1713万円
後期高齢者医療特別会計	8632万円	△534万円
介護保険特別会計	3億5059万円	1346万円
介護予防支援事業特別会計	57万円	41万円
簡易水道特別会計	7071万円	510万円
下水道特別会計	1億9771万円	△194万円
合計	34億2077万円	1億5838万円

認知症徘徊GPS見守り
シューズ等を着用してい
ただき、行動の軌跡を検
索することで居場所の特

定が迅速にできるように
対策をとり、町民が安心
して暮らせる環境づくり
に努めてまいります。

「環境保全・循環型 社会の構築」

環境保全に対する啓発
と桂川の自然の美しさを
後世に伝えることを目的
に、桂川河川清掃事業を
住民の参加と釣り人の協
力を得ながら実施してま
います。

「農林業の振興」

柿園、四方内地区の電
気柵設置を年次計画の中
で行ってまいります。

「商工業の振興」

富士吉田市と連携して
取り組んでおります地方
創生加速化交付金事業
「ものづくり産業を核と

新たな運営方針の下、サ
ービス向上が果たされる
よう、必要な指導を行っ
てまいります。

三ツ峠グリーンセンタ
ー運営管理事業につきま
しては、本年4月1日、2
日の臨時休業をはさんで、
次期指定管理者・静岡ビ
ル保養株式会社による施
設運営が開始されます。

「観光の振興」

したグローバルデザイン
ー拠点事業による新たな
地域ブランドづくり」で
すが、平成31年度事業と
して観光施設等との連携
による商品開発、試作品
の製作とプロモーション、
市場反応調査等を計画し
ております。

本年4月7日に開催さ
れる「第15回西桂町さく
ら祭り」の際、北杜市及び
一般社団法人ワンアース
のご協力のもと寄贈され
ました「三ツ峠きぼうの
桜」(宇宙桜)のお披露目
式を実施いたします。こ
の桜は、山高神代桜の種
子が、平成20年11月にス
ペースシャトル・エンデ
バーに乗って宇宙に旅立
ち、国際宇宙ステーション
日本実験棟「きぼう」に
8カ月間おかれ、平成21
年7月に地球に戻ってきた
種子120粒のうち、
帰還後に発芽したわずか
2粒の一つ「宇宙桜」に実
った種を発芽させた二世
樹であります。

「教育行政の推進」

多くの二世樹はその力
強い生命力を復興の象徴
として東日本大震災の各
被災地に植樹されており
ます。

な入学就職支度金支援制
度を創設し事業を実施し
ております。
小中学校のエアコン設
置工事につきましては、
夏を迎える6月末までに
は完成できるよう事業を
進めてまいります。



西桂保育所 教室での様子

10月から保育料の無償化の見通し 3歳児～5歳児が対象

平成31年度一般会計当初予算

●主な委員質疑・総務

問 保育料が10月以降無償化になるとの見通しだが、財源は。

保育所長 国は消費税の増税分を財源に考えています。3歳～5歳児が無償化の対象で、町保育所では92名の児童が在所予定です。無償化の財源としては、国から特別負担金として町に交付されるということです。

問 道路橋りょう費国庫補助金の宮作橋架設事業の進捗状況と下部工事は総事業費の何割か。

建設水道課長 概ね50%です。31年度には下部工工事と取付道路の整備を行い、32年度には上部工を予定しています。

問 ふるさと応援寄附金が前年度比減となっているが、マイナス計上は力を入れないと言っているのと同じでは。

総務課長 確かに金額的

にマイナス計上となっておりますが、郵便局の見守りサービスを新規に追加するなどして、寄附金額の増を図ってまいります。

問 ふるさと寄附金による町税収の減は。

総務課長 調査して回答します。

意見 危機感を持って努力目標を高く掲げてもらいたい。今は地場産品を返礼品にするだけでは寄付は集まらないので、体験型のサービスや町に人を呼び込むようなサービスを検討していただきたい。

●主な委員質疑・歳出

〔議会・総務〕

問 広報経費が231万円増額になっているが。

総務課長 広報誌の紙面充実を図るため写真などを駆使して見やすくしています。

問 次郎物語ディスク作成の具体的な説明を。

政策推進室長 60年ほど前に西桂町内で撮影された映画フィルムが松竹に残っており、フィルムをディスク化して昔の風景を町民に見ていただき、町おこしとして活用していくものです。

問 地域おこし協力隊の新規募集の考えは。

総務課長 本年末をもって二名が退任しますが、寺田隊員は町内に居住するので独立・生活支援などのサポートを考えています。今後は飲食関係など、当町の課題解決のためになる隊員を募集してまいります。

意見 地域おこし協力隊の募集事業は力の入れ具合で大きく変わってくる事業なので具体的な募集策を練っていただきたい。

地域おこし協力隊員は半数の方が地域に定住しているため、町でも定着を図るためにも頑張ってください。

問 空き家再生等推進事業補助金の支給対象は。

政策推進室長 ポケット



保育所で元気に遊ぶ園児たち

〔民生・衛生〕

パーク整備事業として空き家の除去費に充てます。
問 ホスタウン推進事業の詳細を。

政策推進室長 中学生とオリンピックの交流を行うオリンピック教室、パリオペラ座バレエ団の公演招聘経費、動画の編集委託、12月のプレ五輪大会の合宿経費に充てる予定です。

問 三世代同居事業は重要な施策ですが、住環境の阻害要因が明確になった場合の改修対象は。

福祉保健課長 部屋、トイレ、お風呂の改修をし、子どもが安全に生活できるように改修を考えています。

問 災害廃棄物処理計画

下暮地・宮作橋架設事業 下部工工事・取付道路の整備が着工



宮作地区 工事周辺の写真

は町の単独事業か。
〔産業振興課長〕 町独自の計画ですが、国・県などとも連携しています。防災計画とも密接・有機的に連動する計画です。

〔町長〕 東日本大震災の復旧の過程で自治体間の分別方法などに統一感がなく、そのため、復旧・復興に差が出たことを踏まえ、近隣自治体間で密接

に連絡を取り合い、取り組んでいきます。
〔問〕 いきいきセンターの来年度以降の改修予定は。〔福祉保健課長〕 ショートステイ用にセンターの内装改修を予定しています。

〔問〕 健診の受診勧奨についてどう考えるか。〔福祉保健課長〕 リーフレット配布などで各種団体に呼びかけていきます。

〔意見〕 周知だけでは受診率向上は難しい。手軽な健診方法を摸索していただきたい。
〔農水・商工〕

〔問〕 小規模治山事業のエリアは。〔産業振興課長〕 滝入地内の急傾斜地部分の事業です。

〔意見〕 次年度以降も継続して違ったエリアでの事業を。
〔問〕 千本桜の里管理経費408万円の内容を。〔産業振興課長〕 アメリカシロヒトリの防除を年3〜4回実施、強風で倒れた枝や樹木の除去、巨木化した桜の伐採、テングス病の病害虫防除を実施しています。

〔町長〕 山祇神社から憩いの森までの間は専門家に診ていただいています。が、今後、診てもらおう範囲を拡大していきたいと思っています。また、管理計画についても策定したいと考えています。

〔問〕 町民に植樹してもら

った三ツ峠登山道の桜については、間引き等の間伐を考慮した管理計画が、町内の桜の配置等の景観整備については、空間デザインが必要では。

〔産業振興課長〕 空間デザイン計画はなく、現状の維持が優先されています。

〔問〕 観光事業推進員とは。〔産業振興課長〕 寺田氏を協力隊退任後に町で任用し、動画や写真をネット配信することが目的となります。

〔土木〕

〔問〕 町の人口減少率は県内自治体の間でも上位にあるが、公営住宅の内装の改修に対する町の基本的な考え方は。〔町長〕 間取りなどが現在のニーズにあつた仕様になつていないように感じています。総合戦略の中で構想を立て、少子化対策にもなるよう取り組んでいきます。

〔問〕 団地の浴槽の改修、内装の改修、及び生活必需品である電化製品等

の設置を図り、入居者増を優先すべきでは。
〔建設水道課長〕 居住空間を改修する計画で県と協議してまいります。

〔町長〕 居住者に快適な空間を低価格で提供していきます。

〔教育・公債〕

〔問〕 防災受援計画とは。〔総務課長〕 災害が発生した際に、近隣の自治体などから職員や支援物資などを効率的に受け入れるための計画です。

〔問〕 ハザードマップ上の危険地域に太陽光発電設備が設置されようとしているが、条例化など、早期の対応が必要では。〔総務課長〕 今後は課をまたいだりの連携をしていきます。

〔問〕 いじめ問題への対策は。〔教育長〕 学校にも常に注意を払うとともに、アンケート結果を基に協議会を開き、対策を検討していきます。

ジェネリック医薬品の使用へ周知強化を!! 2018年の山梨県における普及率は 47都道府県中46位でした

平成31年度特別会計当初予算

国民健康保険特別会計

問 繰越金が大幅に増額されたが、余剰金は基金に積み立てるのが正当では。

答 税務住民課長 基金の額は医療費3カ月分が目安であることから、6000万円の積立てで止めています。基金の保有状況は県でも把握されることからあまり多額の基金積立はできません。

問 ジェネリック医薬品通知費用は。

答 税務住民課長 年6回発行で、費用は3万円です。

税務住民課長

広報での周知を行っています。被保険者への直接的なお知らせは3月末の保険証発行と6月の課税通知の際であり、保険証の発行には間に合わない。課税通知発送の際に案内

を入れていきます。

問 保険証に代替希望シールを張れば良いと思うが。

答 税務住民課長 今年度、実施予定です。

介護保険特別会計

問 平成29年度の住宅改修2件の内容を。

答 福祉保健課長 段差の解消にかかった経費です。

問 こういった助成事業があることを知らない住民がいると思うので、町民への周知を。

答 福祉保健課長 ケアマネージャーが認定者に合った住宅改修をパンフレット等で対象者に説明しています。

問 ケアマネージャーに任せればよいというものではないと思うが。

答 福祉保健課長 介護認定者のための住宅改修です。今後は広報や町ホームページで制度の周知をしていきたいと思えます。

簡易水道特別会計

問 給水工事収入の内容は。

答 建設水道課長 他から委託を受けて工事を行う場合の収入のことです。

問 大規模災害に備える自治体間の相互応援協定締結については。

答 総務課長 今後、協定先の検討も含めて検討し、締結してまいります。

問 当町の水道水は富士の地下水という水資源を利用しているが、災害時に新高区が稼働しなくなった時の対応をどう考えているのか。

答 建設水道課長 県道拡幅工事の際に富士吉田市と、また一部地域では都留市と水道管を接続しており連携していく予定です。

意見 個人所有の井戸を災害時に活用できるように計画に策定しては。

答 建設水道課長 井戸の稼働率は0・9%。配水管に繋ぐのは技術的に難しいと思えます。

問 井戸を配水管に繋ぐ



下水道工事 現地視察の様子

ことは想定していません。個人所有の井戸は複数あるので、災害時には使えらると思うが。

答 建設水道課長 停電時に於いて新高区配水地は、13時間給水可能です。

問 総務課長 町内の井戸数は早急に調査し、災害時に使えるようなら使っていきたいと思えます。町

では水の会社やコカ・コーラ等とも協定を交わしています。

下水道特別会計

問 使用料の件数増加見込みは。

答 建設水道課長 14件増を見込んでいます。

3月定例会・平成30年度補正予算

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額	
一 般 会 計	第5号	414万円	22億3780万円
	第6号	7452万円	23億1232万円
	第7号	△1541万円	22億9691万円
国民健康保険特別会計	3600万円	4億2454万円	
後期高齢者医療特別会計	△890万円	8276万円	
介護保険特別会計	△231万円	3億7394万円	
介護予防支援事業特別会計	8万円	66万円	
簡易水道特別会計	△250万円	6861万円	
下水道特別会計	△843万円	1億9118万円	

補正予算の主な内容（※全会計において、事業終了による事業費の減額更正あり）

一般会計補正予算(第5号)	小学校学校管理費414万円総額
一般会計補正予算(第6号)	小学校学校管理費4212万円増額、中学校学校管理費3240万円
一般会計補正予算(第7号)	○歳入 町税764万円増額、地方交付税6665万円増額、使用料及び手数料389万円増額、国庫支出金886万円減額、県支出金112万円減額、財産収入5887万円増額、繰入金15210万円減額、繰越金1315万円増額、町債380万円減額 ○歳出 総務費6283万円増額、民生費2047万円減額、衛生費2093万円減額、農林水産業費587万円減額、商工費264万円減額、土木費2695万円減額、消防費621万円増額、教育費705万円減額
国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○歳入 国保税75万円減額、県支出金1027万円減額、繰入金162万円減額、繰越金4867万円増額 ○歳出 総務費69万円減額、保険給付費168万円増額、基金積立金3500万円増額
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	後期高齢者医療負担金890万円減額
介護保険特別会計補正予算(第2号)	総務費60万円減額、保険給付費30万円増額、基金積立金461万円増額、地域支援事業費212万円減額、諸支出金450万円減額
介護予防支援事業特別会計補正予算(第2号)	介護予防サービス事業費8万円増
簡易水道特別会計補正予算(第2号)	総務費107万円減額、維持管理費40万円減額、改良費104万円減額
下水道特別会計補正予算(第2号)	管理費637万円減額、新設工事費206万円減額



西桂中学校（エアコン設置が予定されている小中学校）

3月定例会・条例制定、改正等

賛成全員

条 例 名	主 な 内 容
西桂町総合計画策定条例の制定	総合計画の重要性を踏まえ、計画の位置付けを明確にする とともに、その策定に係る手続を定めることにより、総合 的かつ計画的な行政運営を行っていくための条例を制定
西桂町課設置条例の一部改正	事務組織の適正化及び行財政運営の強化と効率化を図るた め、所要の改正
西桂町職員の勤務時間、休暇等に関する 条例の一部改正	国家公務員の超過勤務命令の上限の設定に係る人事院規則 の改正に準ずるため、所要の改正
西桂町小規模商工業者事業資金利子補給金 条例の一部改正	小規模商工業者の経営基盤の強化を促進し当町商工業の健 全な発展に資するため、所要の改正
西桂町企業の奨励に関する条例の一部改正	西桂町における産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業 が町内に進出しやすいよう、奨励措置対象要件を緩和する 必要があるため、所要の改正
西桂町国民健康保険税条例の一部改正	国民健康保険特別会計の健全財政の保持及び税の平準化を 図るための国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、所要 の改正
西桂町国民健康保険財政調整基金条例の 一部改正	国民健康保険の制度改正に伴い、国民健康保険財政調整基 金の処分目的を改める必要があるため、所要の改正
西桂町都市公園条例の一部改正	クマガイソウ群生地を都市公園として適正に管理するた め、所要の改正



クマガイソウ群生地



相川 洋 委員(倉見)



郷田善臣 委員(下暮地)

固定資産税評価委員の
選任に同意(全員賛成)



高尾徳太郎 委員(本町)

人権擁護委員の推薦
を求める(可決)





一般質問

武藤隆義 議員



県道富士吉田西桂線

農業振興地域の除外申請について
—なぜ、県道が開通しても、道路沿いへの住宅建設ができないのか?—

問

平成29年6月定例会において、「県道富士吉田西桂線沿道が農業振興地域のため、住宅建設が困難であることから、住宅建設が可能となる『農業振興地域整備計画』の見直しを関係機関と協議を進めていただきたい。」との質問に、「農業振興計画は、

露地野菜を中心とした零細経営であり、担い手不足も深刻化している。今後は合理的利用と持続可能な地域の形成に務めていきます。」との御答弁でした。

ことで農業振興地域の見直しを終了し、変更後の農用地区域面積39・7haで、0.3haの農地が農用地区域から除外されました。主な項目は、県道及び町道の道路敷地453・73㎡、公共用地84㎡、河川敷35㎡、前回、平成24年度総合見直し以降の随時見直しで除外された面積2391・82㎡であります。続いて、平成30年度の随時見直しは、平成31年2月4日付けにて県知事同意を得ることで農業振興地域の見直しが終了し、2件の農地転用事業のための除外申請のとおりに、5筆、384・84㎡の農地が農用地区域から除外されました。

沿線の農地が農用地区域から除外されていないことについては承知しています。住宅建設が可能となる『農業振興地域整備計画』の見直しを関係機関と協議されていないことになるのではないのでしょうか。

国の基本指針及び県の農業振興地域整備基本方針に基づき定められ、農振農用地の除外には、
①農業地区域外に代替できる土地がないこと
②農用地の集団化、農作業の効率化等、農業上の効率的かつ総合的な利用に支障を及ぼすおそれがないこと
③農用地区域内における担い手に対する農用地の利用の集積に支障を及ぼすおそれがないこと

私が問題提起させていただいてから、2年弱が経過しております。『県道富士吉田西桂線』は、着々と工事が進んでいます。このままでは、完成した道路沿いに住宅を建設することができません。農振農用地の除外申請するため、地域的除外条件は満たしていると思われませんが、この2年間、行政では、『農業振興地域整備計画』の見直しを関係機関と協議など、何らかのアクションをとられているのかお聞かせ願いたい。

県知事同意を得た農業振興地域の見直しは、道路敷地内の道路建設に伴う転用であり、2件の農地転用事業のための除外申請は、県道から外れており、県道

開通後の周辺整備については、倉見地区のみならず、上町地区の町民の皆様も注視するところであります。町の将来のビジョンを方向付ける『第6次長期総合計画』の作成予算が、本定例会にて、可決されました。第6次長期総合計画』を基に、今後作成される『西桂町都市計画マスタープラン』においては、『集落と田園が共生するエリア』を目指し、住民目線でのスピード感を持った計画になることを期待しております。

町長

平成29年度の総合見直しは、農業振興地域の整備に関する法律の規定により、平成30年5月31日付けにて県知事同意を得る

意見

県知事同意を得た農業振興地域の見直しは、道路敷地内の道路建設に伴う転用であり、2件の農地転用事業のための除外申請は、県道から外れており、県道

開通後の周辺整備については、倉見地区のみならず、上町地区の町民の皆様も注視するところであります。町の将来のビジョンを方向付ける『第6次長期総合計画』の作成予算が、本定例会にて、可決されました。第6次長期総合計画』を基に、今後作成される『西桂町都市計画マスタープラン』においては、『集落と田園が共生するエリア』を目指し、住民目線でのスピード感を持った計画になることを期待しております。



一般質問

山崎泰洋 議員



4月1日より運用開始された新しい「富士吉田警察署」

町政の早期に解決すべき課題について

問

警察署管轄変更要望の状況は

町長

昨年5月29日に議長・総務委員長と大月警察所長に要望書を提出、6月4日議長並びに杉山・水岸県議と後藤知事に要望書を提出、6月6日警察本部長を訪問、趣旨説明、8月21日堀内富士吉田市長と富士吉田警察署長に要望書提出、11月29日市長と県警本部長宛に要望書を提出、12月4日近隣の市町村長と県警本部長代理警務部長に富士五湖広域行政事務組合の課題、西桂町及び広域住民総意での要望書提出について説明をしております。これらの要望活動に対し、3月1日県警本部企画室長より、平成19年4月に管轄再編により、15警察署体制から現在の12警察署体制に再編し、平成23年に県民意識調査を行っているが、治安上問題ない、治安が保

たれていることから、要望の管轄変更については、今回は見送らせていただく、との報告を受けました。管轄区域は、警察の施行令の基準に従って決定している。また、社会的な情勢、自治体の枠組みなど、情勢変化があれば、それに応じて治安対策上の効果を検討したうえで、管轄変更を検討していく考えがあるため、変更が絶対ないと言われない旨の説明がありました。当町は生活・経済圏の枠組みが富士吉田警察署管内であり、富士五湖広域行政事務組合として富士北麓圏域の6市町村が連携している新しい自治体の枠組みの型であると説明をしたところであり、地域住民の声が反映されていない回答に納得できないことから、富士吉田署が建設されている機会をチャンスと捉え、体制整備をするこ

とが地域住民、警察にとっても有益となること、地域住民の声を県警本部はどう考えているのか、地域住民が理解できる説明、変更しない理由、変更を実現させる手法の提言を強く要望するとともに、警察本部の、管轄変更、県民意識調査等の、あらゆる計画スケジュールの提示を要望いたしました。町及び広域行政事務組合としては、署名活動も含め、実現に向け県知事及び警察本部長に対し、要望活動を続けていく考えでおります。

問

県道富士吉田・西桂線の完成時期は

町長

上暮地区に於いては、早期実現が望まれています。平成29年11月説明会後、路線変更をすることとなり、測量業務のやり直しを余儀なくされ、平成30年9月に再度説明会開き、その後用地買収に入ると聞いております。早期完成のために富士吉田市と連携し、強く要望をしていきます。

問

ふれあい館の今後の改修計画は

答

西桂町の観光地としての価値を高めるためには、集客の上で中核施設であるふれあい館の改修は必要不可欠であると認識しております。平成30年度のふれあい館改修は、喫煙室の設置及びテニスコート2面を整備しました。平成31年度は館内に無料ミッド環境の整備、トイレを全てシャワートイレに改修、玄関下駄箱の施錠化、脱衣室に鍵付貴重品ロッカーの増設、露天風呂への手すり設置、個室カラオケ客室防音工事2部屋、お風呂場喚起窓の改修を計画いたしました。プロ対策としてテニスコートプロ防除工事、バーベキュー場プロ防除工事も工法を検討の上、実施する計画であります。ログハウスのエアコンの交換、ウッドデッキの改修、フットサルコートB面の改修工事も予定されております。平成32年度以降には、ボイラー交換、エアコン用ガスヒートポンプ取替え工事を計画しております。



一般質問

瀧口幸男 議員



競馬山・下暮地区に観光災害避難道路を

問

競馬山、とうざんの里、三ツ峠グリーンセンターという町内の観光地を結ぶ観光道の建設は。

町長

町内の観光地を結ぶ観光道は観光産業の活性化にも繋がります。俵橋等が通行不能となつた

場合の迂回路や柄杓流川が増水した場合の住民の避難路として、宮作橋からグリーンセンター方面にかけての延長400m・幅5mの道路建設について、平成31年度に測量設計費用を予算計上し取り組んでまいります。

問

下暮地周辺には多く

の遺跡があるがこれらを観光資源として活用できないか。

町長

三ツ峠周辺史跡郡18箇所124基を町の有形文化財として指定し、ドローンで空撮動画を作成し、立体的な史跡群の紹介を行う観光資源のPRを図ります。

問

災害時の非難道路の建設は。宮作から都留市・笹子へと通じる観光災害避難道を

町長

県の林内路網整備計画において高規格林道の新規整備は困難なことから、県道718号富士吉田西桂線について、富士山噴火等の緊急輸送道路として1日も早い進捗が図れるよう要望していきます。

シヨツピンググリハビリの導入を

問

高齢者が買い物を楽しみながら自然にリハビリができる「シヨツピンググリハビリ」事業を取り入れてはどうか。

町長

町社会福祉協議会や介護事業所と連携し、介護認定者及び買い物弱者に対する支援を積極的に取り組み、買い物弱者に対しても、「ライドシェア」及び「タクシー相乗り」の仕組みを町社会福祉協議会などと共に検討します。



山梨県立考古博物館へ貸し出している宮の前遺跡・釣手土器 (撮影：小川忠博氏)

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その76



飛女龍の皆さん

訪問先

三ツ峠太鼓保存会アーク 飛女龍

代表：杉本 富子

取材日：3月8日
中村議員、山崎議員

問 活動内容は。

杉本さん 毎週火曜日・

金曜日の午後8時から

「きずな未来館」2階で練

習し、町で開催される各

種イベントや介護施設等

で演奏しています。

問 現在取り組まれていることは。

杉本さん 曲と曲の太鼓

並び替えの間に演奏する

曲を練習しています。

問 今後の目標は。

杉本さん もっと活動の

幅を広げ、介護施設等で

のボランティア演奏を増

やしていきたいです。

問 町民の皆さんにお知

らせたいことは。

古屋千枝さん 1年程入

院しておりましたが、看

護師さんやお医者さん、

町の皆さんの応援があ

り、退院後も頑張つてき

ました。昨年には文化功

労賞いただき、とても感

激いたしました。

若い世代の方達に和太

鼓の魅力を伝えたいです。



面をかぶって本番さながら練習風景

一緒に活動してくだ
さる方を随時募集し
ています。

見学に来て太鼓を叩
いてみませんか？

連絡先：

090-2437-4684 (杉本)

議員との意見交換会 開催のお知らせ

昨年度まで「きずな未来館」において開催しておりました議会報告会ですが、今年度は各地域の公民館において現状の課題・要望・活性化策など自由なお話ができる機会を下記の日程にて企画しましたので御参加をお願いします

記

開催日 5月 8日(水曜日) 本町地区
5月 9日(木曜日) 柿園地区
5月 16日(木曜日) 下暮地地区
5月 24日(金曜日) 上町地区
6月 13日(木曜日) 倉見地区

時間 19時30分～21時00分

場所 各地区公民館

参加議員 全議員の参加を予定しています

町民の皆様は、どちらの地区へも参加可能ですので多くの皆様方の参加をお待ちしています

発行責任者 西桂町議会議長 柏木 正
編集委員長 中村常実 副委員長 山崎泰洋
委員 勝俣豊一・酒井基和・岩田裕展

議会の傍聴をお願いします。

次回定例会は6月中旬です。

詳細は6月初旬に、ホームページにて公表します。